

第10分野	アルコール依存症治療プログラムについて(佐藤)
解説	目的は酒害による身体機能の改善、断酒意志の確立の為の酒害教育となります。基本は3ヶ月間となりプログラムを作成し、1ヶ月目は離脱症状の観察・点滴・内服による身体的治療、アルコール依存症の基礎知識のテキスト・ビデオ学習・ミーティング、2ヶ月目では身体・脳・精神への影響についてテキスト・ビデオ学習・ミーティング、3ヶ月目には外泊訓練、内省・内観療法、断酒会への参加などを中心にプログラム展開を行います。その他、3ヶ月間を通して週1回の全体ミーティング(ゼロの会)、運動療法も実施しています。再入院の患者様や医師の指示によっては、個人にあった内容、短期間でのプログラムを組む事もあります。否認の強さ・表面的な受け答えにスタッフは流されないよう方向修正をする事、外泊時の飲酒に十分注意し対応していかななくてはならない他、家族へのフォローも必要となってきます。プログラムの進め方として、個人の疾病に対する理解や断酒への動機付けの度合いに合わせ、個人の意識・状態にあったペースで飲酒にまつわる様々な問題、ご家族や友人との関わり、これまでの自分の生き方や今後の生活について等すすめていく。ポイントとして、本人の考えや意見などを慎重に聞き取り、問題が多く見られてもその事について過度に追求したり、批判をする事は避け、あくまでも本人の気づき(自発・自主性)を促していく事が重要となります。そして、自己コントロールの重要性や厳しさ、達成感を実感してもらい、断酒意志の確立を促していきます。
例題1	アルコール依存症治療プログラムの目的は何ですか？
回答	主外による身体機能の改善、断酒意志の確立のための酒害教育となります。
例題2	アルコール依存症治療プログラムでは、1ヶ月目、2ヶ月目、3ヶ月目、それぞれどのような内容を実施していますか？
回答	1ヶ月目は離脱症状の観察・点滴・内服による身体的治療、アルコール依存症の基礎知識のテキスト・ビデオ学習・ミーティング、2ヶ月目では身体・脳・精神への影響についてテキスト・ビデオ学習・ミーティング、3ヶ月目には外泊訓練、内省・内観療法、断酒会への参加などを中心にプログラム展開を行います。
例題3	集団精神療法(グループワーク)の目的は何ですか？
回答	集団の中で自分の考えを話し、また他者の話を聞くことの中から、アルコール問題への否認を取り除き、治療への動機付けを行う事である。
例題4	AA、断酒会とは何のことですか？
回答	酒害によってどうにもならなくなった人たち(アルコール依存症者)が、断酒を目指して活動している自助グループをいう。
例題5	抗酒剤の代表的なものをあげなさい？
回答	シアナマイド、ノックピン
例題6	イネープリングとは何か
回答	イネープリングとは、もともと「可能にする」という意味である。アディクションアプローチにおいては、飲酒している人の傍らで、飲酒をやめさせようとして逆に飲酒を可能にしてしまうことをさしている。

例題7	アディクションとは何か
回答	「嗜癖」である。アディクションと依存症は同義語と捉えて構わない。わかりやすく表現すると「行動のあく習慣」である。
例題8	アダルトチルドレンの定義とそのポイントを書きなさい
回答	定 義: 現在の自分の生きづらさが親との関係に起因すると認めた人 ポイント: 免責性 親へのマイナス感情の容認 「起因する」という点 親との関係 「自分で認めた人」
例題9	日本は飲酒に最も寛容な国と言われますが、その理由を書きなさい
回答	飲酒と集団的に共有された酔いのどちらに対しても寛容な飲酒文化 アルコールが社会の組織化に決定的な役割を果たしている アルコールに対する構造的脆弱性 許容と統制が同時存在する統合メカニズム 以上4点は、女性には必ずしも当てはまらない